学校番号	３０１７

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ　（光村書店）３０８						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・楷書から行書、仮名に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・半切条幅作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察	提出作品	提出作品	提出作品

上に示す観点に基づいて、a:20%, b:50%, c:20%, d:10%の割合で評価し、５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	楷書を学ぶ	・書写から書道へ	○			○	a：書への関心・意欲・態度 b：書表現の構想と工夫 c：創造的な書表現の技能 d：鑑賞の能力	提出作品
		・姿勢と執筆法について	○	○	○	○		
		・用具、用材説明 線の引き方から概念くだき	○	○	○	○		
		・楷書（牛概造像記を中心に） 一本一本の線の表情と空間の取り方から美の法則を学ぶ	○	○	○	○		
		・半切条幅作品に仕上げる	○	○	○	○		
	行書の特徴を知る	・プリントによる考察	○			○	a：書への関心・意欲・態度 b：書表現の構想と工夫 c：創造的な書表現の技能 d：鑑賞の能力	提出作品
		・基本的特徴の6段階有ることを学ぶ創作	○	○	○	○		
		・行書体の字調べをし、半切に仕上げる。	○	○	○	○		
後期	仮名の書に親しむ	・プリントによる考察 日本文化と仮名について	○			○	a：書への関心・意欲・態度 b：書表現の構想と工夫 c：創造的な書表現の技能 d：鑑賞の能力	提出作品
		・仮名の成立	○			○		
		・基本線を学びつつ、ひら仮名、変体仮名、連綿の仕方を知る	○	○	○	○		
		・古筆を学ぶ 高野切れ、古今集等	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力